

# 自己評価と学校関係者評価の改善を目指して

東郷町立春木中学校

## 1 学校概要

東郷町は名古屋市の東郊の愛知郡 2 町の一つである。本校は東郷町の 2 番目の中学校として、昭和 58 年 4 月 1 日東郷中学校より分離独立し開校した。校区は町の南部、主要地方道名古屋岡崎線をはさむ春木地区の大部分で、春木台小学校区、音貝小学校区と 19 年度 4 月に開校した兵庫小学校区を合わせた区域である。田園風景が点在し、牧歌的な雰囲気が残るのどかな校区である。

本校の教育目標は校訓の「伸びよう 清く たくましく」を基盤に「生徒の側に立った、魂にくいいる教育」を前提として、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな実践力のある人間形成を目標とし教育活動を進めている。

校 訓	目 標 と す る 生 徒 像
伸びよう 清く たくましく	英知 - 自ら学ぶ意欲をもち、深く考え、社会の変化に主体的に対応できる生徒 自律 - いのちを尊び、礼節を重んじ、こころ豊かな生活を築くことのできる生徒 剛健 - こころやからだを積極的に鍛え、忍耐強くたくましく生きる生徒

## 2 平成17年度までの学校評価

### (1) 自己評価とその公表

平成17年度までの本校の学校評価は、平成14年度から継続している、1・2 学期の個別懇談会時に行った学校行事に関する保護者アンケート（1 学期...野外活動・修学旅行、2 学期...体育大会・春木祭）（資料 1）と教職員が年度末に行う各部会反省を行うにとどまっていた。年度末の各部会の反省については、1 月中旬～2 月上旬に教職員個々が各部の「成果と反省」「今後の課題（改善点）」に分けたファイルに期限までに自由に書き込み、その内容を踏まえて各部会で反省を行う方法をとった。

保護者アンケート結果については、自由記載の意見を除いたものを学年通信で保護者に公表した。（資料 2）自由記載の意見に

ついては、個人的な意見や偏りのある内容のものが多いと判断したので、学年通信への掲載はせず、一部保護者の意見として教職員のみ知らせた。また、教職員の年度末反省については、学校評議員会において学校評議員に提示・説明した。出てきた意見については、保護者への公表はせず、2 月下旬の職員会議にて、各部会担当者からの「反省事項」と「次年度への課題」として提案した。

### (2) 学校関係者評価（外部評価）

本校では学校関係者評価（外部評価）を学校評議員に依頼してきた。平成17年度までは、例年 8 月

### 【資料 1 保護者アンケート】

野外活動（キャンプ）の感想を以下のアンケートでお知らせください。  
回答方法：該当する欄に をつけてください。

項 目	思 っ	少 っ 思 っ	あ ま り 思 っ	思 っ 不 足
1 学年からのお知らせにより、事前に活動内容が分かりましたか。				
2 子どもさんの活動意欲は高まっていましたか。				
3 生徒の主体性を育てる取組になっていましたか。				
4 子どもさんは、校外学習を楽しみにしていましたか。				
5 子どもさんは校外学習を楽しんでいましたか。				
6 今回の活動は、子どもさんの今後の生活に生きると思いますか。				
その他、お気づきのことがありましたらお書きください。				

下旬若しくは9月上旬及び3月の年2回行っていた。9月には学校評議員に教育目標、経営方針等の説明及び1学期保護者アンケートの結果の説明を行った。また、3月には、12月に行った2学期保護者アンケートと2月に行った年度末の各部会反省の結果の説明を行い、意見を求めた。また、体育大会や卒業式には来賓として出席していただき、実際の様子を見ていただいた中で意見を聞いた。

### (3) 反省と課題

本来学校評価は、教育の成果の検証のための主要な手段でなければならない。したがって、教育目標をはじめ、経営方針・重点努力目標実現を目指した指導計画を作成し(Plan)、共通理解の下に教育活動を展開し(Do)、その達成状況を把握・整理し、取組の適切さを検証し(Check)、組織的・継続的に教育の改善を図らなければならない(Action)。

また、結果の説明や公表により保護者や地域からの理解と参画を得た中で、信頼される、より開かれた学校づくりを進めるべきである。そして何よりも、生徒や保護者、そして教職員が教育の成果を実感し、更なる前進に結び付くためのものでなければならない。残念ながら、本校のこれまでの学校評価は前述のPDCAのサイクルになっ

ていたとは言えず、単発的な行事に対する保護者へのアンケートと教員による年度末の部会反省を次年度計画立案の参考になるように申し送るにとどまっていた。平成17年度までの学校評価の主な反省として次の点がある。

具体的な目標や指標がはっきりとしていなかった。

計画的な学校評価がなされていなかった。学校関係者評価(外部評価)については実質的に、3月の学校評議員会の1回のみであった。

評価者に生徒が入っていない。また、保護者についても行事に対する評価を行うのみであった。

学校評価委員会等の組織として学校評価に取り組んでいなかった。

これまで、1・2学期の保護者アンケートの結果のみを学年通信に掲載して保護者に公表してきたが、公表というには不十分だった。

目標(Plan) - 実行(Do) - 評価(Check) - 改善(Action)のPDCAのサイクルに基づいた学校評価となっていなかった。

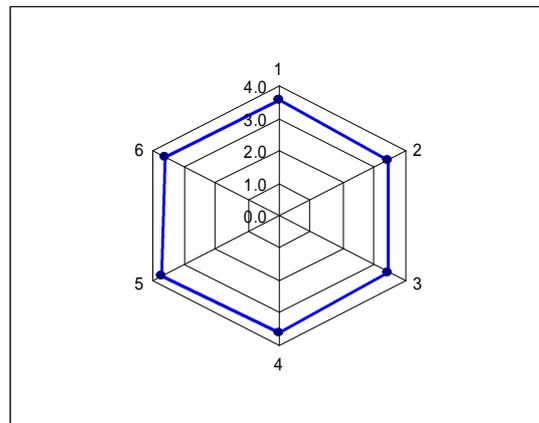
## 【資料2 保護者アンケート結果】

平成17年度 2年生 1学期 学校アンケート集計結果

野外活動について 対象:2学年保護者(103名回答) 70.5%

思う4点、少し思う3点、あまり思わない2点、思わない1点で集計

番号	項目	思う	少し思う	あまり思わない	思わない	得点	平均(結論)
1	学年からのお知らせにより、事前に活動内容が分かりましたか。	59	36	3	0	350	3.6
2	子どもさんの活動意欲は高まっていましたか。	59	29	13	1	350	3.4
3	生徒の主体性を育てる取組になっていましたか。	52	46	3	1	353	3.5
4	子どもさんは、野外活動を楽しみにしていましたか。	70	25	7	1	370	3.6
5	子どもさんは野外活動を楽しんでいましたか。	79	17	6	1	380	3.7
6	今回の活動は、子どもさんの今後の生活に生きると思えますか。	64	32	4	0	360	3.6



### 3 平成18年度以降の取組

#### (1) 目標設定

平成18年度からは平成17年度の反省をかんがみ、4月の第1回目の職員会議において、校長より教育目標、経営方針、18年度の重点努力目標に加え、具体的方策（別添資料3）が示された。これは、17年度までと比較し、教職員にとってより具体的ではっきりとした目標となった。また、入学式や始業式、PTA総会に保護者に対し、教育目標、経営方針等について直接校長が説明をした。生徒には朝会等機会のあるごとに具体的な例を交え、目標にかかわる講話を行った。

#### (2) 学校評価の組織と評価計画

##### ア 学校評価の組織

学校評価を進めていく上で、その大切さを全教職員が理解し、組織として取り組むことが大切である。これまで本校では学校評価については教頭が内容・方法・集約・分析等についてのほとんどを担ってきた。しかし、多くの教職員が組織的にかかわることにより、学校評価はよりの確なものになる。そこで、既存の組織である運営委員会を学校評価委員会とし、組織として機能できるように考えた。

（図1）

また、学校評価ガイドラインにも示されるように、学校の自己評価の客観性を高め、教育活動その他の学校運営の改善が適切に行われるようにすることを目的として学校関係者評価（外部評価）委員会の設置も行った。学校関係者評価（外部評価）委員の選出は、的確な学校関係者評価（外部評価）を行う上において、大変大きなウェイトを占める。的確な学校関係者評価（外部評価）を行うためには、評価を行うに足る識見をもち合わせた方に、学校や地域住民の実情を把握した上で評価していただくことが望ましい。平成19年度のメンバーは前教育委員長、元PTA会長、元PTA母親代表、地域の医療法人顧問、地域合唱サークル代表者に就任を依頼した。

学校の情報については、なるべく多く知っていただけるように各種行事への案内を出したり、学校新聞、地域広報紙などを送付したりした。体育大会や教育講演会、文化祭では率直な感想を聞くことができた。

【図1 学校評価の組織】



##### イ 評価計画

教育目標実現に向け、具体的実践を行った結果をどの時期にどのように評価し、いかにその後の計画に反映させて教育活動を改善していくべきか、これらのことについては十分な検討が必要とされる。

本校では、評価段階を中間部のない4段階とし、具体的な方策がどこまで達成できたかをアンケート形式で把握するように取り組んできた。そして平成18年度からは、教育目標の具現に向けて、校長から出された「具体的な方策」に対応したアンケート調査（資料4）を1・2学期終了後に行うことにした。そのことによって目標の実現の度合いを分析し、必要に応じて新たな方向性を見いだせるように考えた。また、保護者アンケートについては、平成18年度後期より、これまで行ってきた行事ア

アンケートをやめ、学校運営全般に対する保護者からの評価や意見が分かるように、10項目のアンケート（資料5）に変更した。

【資料4 18年度1学期 生徒・教職員アンケート】

平成18年度 1学期 生徒向けアンケート 氏名					
該当する項目に 印をつけて下さい。該当しない項目は空欄で結構です。					
番号	生徒アンケート項目	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
1	授業の開始にはチャイム着席できましたか				
2	授業の開始や終了のあいさつはしっかりできましたか				
3	説明や発言を最後まで集中して聞くことができましたか				
4	予習や復習を行うことができましたか				
5	先生は、あなたの理解度に合った授業を行ってくれたと思いますか				
6	TTや少人数での授業は効果があると思いますか（数学・英語）				
7	授業の目標を理解して授業を受けることができましたか				
8	あいさつや正しい言葉遣いできましたか				
9	きちんとした身だしなみで生活できましたか				
10	時間を守って行動できましたか				
11	不注意や悪ふざけで発生する怪我のないように生活できましたか				
12	ガラスや物を壊さないように意識して生活できましたか				
13	身の回りをきれいにしようとすることができましたか				
14	生活面について先生方の言われることはだいたい同じような内容であると思いますか				

平成18年度 1学期 教師向けアンケート					
今年度の教育目標の具体的な方策について、1学期の自らの指導を振り返ってください。該当する項目に 印をつけて下さい。該当しない項目は空欄で結構です。					
番号	教師アンケート項目	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
1	チャイム着席をさせた授業の開始				
2	授業の開始や終了時のあいさつ				
3	説明や発言を最後まで集中して聞く姿勢				
4	予習や復習の習慣化				
5	基礎・基本の定着と発展的な学習を取り入れた指導				
6	TTや少人数指導の効果的活用（数学・英語）				
7	指導と評価の一体化を図るための努力				
8	あいさつ・言葉遣いの指導				
9	身だしなみ指導				
10	時間を守らせる指導				
11	不注意や悪ふざけに起因する怪我の撲滅				
12	ガラス破損・器物損壊の削減への努力				
13	環境美化（含む教室環境）に対する意識化				
14	指導体制について共通理解「報・連・相」				

【資料5 19年度1学期アンケート】

また、単なる数値のみにこだわらず、「生徒が何をしたか」「教職員は何をやったか」「地域からこのような声があった」など、実際に起こったことについても大切な評価の一部としてとらえていくことにした。

平成17年度までの学校関係者評価（外部評価）については、学校評議員会時に合わせて実施されていた関係から、例年9月と3月の開催となっていた。学校関係者評価（外部評価）の意義を考えれば、9月になってから教育目標をはじめ、諸計画を説明し、意見聴取をしては、せっかくの意見も取り入れる機会を逸してしまうことになりかねない。

そこで、平成18年度以降は5月に学校評議員会を開催し、学校運営について意見を聞く機会とした。（表1）

平成19年度 1学期 保護者 学校アンケート				
項目	そう思う	少し思う	あまり思わない	まったく思わない
学校は、教育(指導)方針や教育活動を保護者にきちんと説明している。				
学校は、学校の様子を多くの保護者や地域の人に知ってもらおう努力をしている。				
学校は、生徒の気持ちを理解するように努め、一人一人を大切にしている。				
学校は、生徒一人一人に応じた授業を心がけている。				
学校は、「いいことはいい」「悪いことは悪い」という指導を適切に行っている。				
学校は、校舎内外の施設設備の充実に取り組み環境の美化・整備に努めている。				
学校は、体育大会や文化祭などの学校行事を工夫して行っている。				
学校は、生徒が部活動に参加しやすいように努めている。				
春木中の生徒は、さわやかなあいさつや、しっかりと身だしなみができる。				
お子さんは、学校に通うの楽しみにしている。				

【表1 評価計画】

月	自己評価			学校関係者評価 (外部評価)
	生徒評価	保護者評価	教職員評価	
5				学校関係者評価 (外部評価)委員会
7	1学期アンケート	1学期アンケート	分掌部会反省 1学期アンケート	
8	集約・分析	集約・分析	集約・分析	
9	アンケート結果提示 (意見集約...PTA委員会)	アンケート結果提示 (意見集約...PTA委員会)	新たな目標設定	意見聴取 (学校関係者評価委員)
12	2学期アンケート 集約・分析	2学期アンケート 集約・分析	2学期アンケート 集約・分析	
1	アンケート結果提示 (意見集約...PTA委員会)	アンケート結果提示 (意見集約...PTA委員会)		
2	年度末分掌・部会反省			
3	次年度に向けての改善案の検討			学校関係者評価 (外部評価)委員会

ウ データ処理の効率化

学校評価において、アンケート調査後のデータ処理をいかに効率よく行うかは大きな課題である。平成18年度までは、学級担任には学級の傾向や担任する生徒の保護者の意見や考えを把握する目的で学級分の集計を依頼してきた。その結果を教頭が学年・全校に分けて処理していた。多くは手作業であり、費やす時間もかなりのものであった。平成19年度は、コンピュータに堪能な教員がフォームを作成した。担任が数値をフォームに打ち込めば自動的に学級・学年・全校の集計ができるようになった。これまで行ってきた事務量が格段に減ったことは言うまでもない。

エ 結果の公表

【資料6 ホームページ】

学校は説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民と情報や課題を共有するために、教育活動や学校運営の状況について、積極的に情報を提供することが求められている。これまで行ってきた保護者アンケートの結果については、学年通信に該当各学年の結果を掲載し知らせてきた。18年度からは更に保護者、生徒をはじめ、広く地域の方々に情報を提供できるよう学校のホームページ(資料6)に掲載することにした。1学期の保護者アンケートは保護者個々の意見も含め、すべて掲載した。また、

項目	そう思う 229	少し思う 176	あまり思わない 94	全く思わない 10	平均 3.4
1 授業の開始にはチャーム準備できましたか	229	176	94	10	3.4
2 授業の開始や終了のあいさつはしっかりできましたか	179	213	51	13	3.2
3 説明や質問を最後まで集中して聞くことができましたか	84	286	94	21	2.9
4 学習や宿題を行うことができましたか	69	304	140	47	2.6
5 先生は、あなたの理解度にあった授業を行ってくれたと思いますか	89	285	83	18	2.9
6 下や少人数での授業は効果があると思いますか (数学・英語)	175	280	60	14	3.2
7 授業の目標を明確に授業を授けることができましたか	73	247	105	18	2.9
8 あいさつや正しい服装などができましたか	113	222	88	24	2.9
9 きちんとした身だしなみで生活できましたか	212	158	43	20	3.3
10 時間を守って行動できましたか	161	213	62	10	3.2
11 不注意や悪みぎりで発生する程の遅いように生活できましたか	269	128	37	15	3.4
12 ガラスや物を壊さないように注意して生活できましたか	397	80	17	6	3.7
13 身の回りを見きれないようにすることができましたか	118	282	70	20	3.0
14 生活動について先生方の言われることはたいへん嬉しいような内容であると思いますか	116	286	53	16	3.1
15 顔・身振りのよい・丁寧にしっかりと取り組むことができましたか	129	205	92	11	3.0

また、本校ではこれまで学校の情報を地域へ発信するために「キャッチボール」(別添資料7)と名付けた地域広報便りを年6～7回作成し、校区の区長さんを通じ地域の方々に配布してきた。この広報便りにも評価結果を掲載していくことにした。

## オ 実践事例

### (ア) 新たな目標の設定...18年度 1 学期アンケートから

8月の出校日に学校アンケート(資料4)を生徒と教職員それぞれを対象に行った。これは教育目標実現に向けての具体的方策(資料3)に対応したアンケート調査である。アンケート項目については、教職員側と生徒側の結果をすり合わせられるように考えた。アンケートの結果(別添資料8-1, 2)から、1学期間の実践において不十分な点が浮き彫りとなった。特にアンケート項目の19, 20にある道徳指導については、4点満点のうち生徒・教職員ともに2点台の前半という低い数値を示すものであった。



教務主任からの提案

また、生徒理解にかかわるアンケート項目の21では、教職員の取組の甘さ、23では教職員の手応えや実感と生徒の意識の「ずれ」をみる事ができた。これらの結果を踏まえ、校長の指導・助言の下、教務主任より学校評価委員会に2学期の重点目標として、「道徳の授業の充実」についての提案がなされた。学校評価委員会では、全校のデータはもとより、学年や学級ごとのデータについても、その傾向を分析するとともに、対策について論議が深まった。平成18年9月7日(木)の職員会議では、教務主任より「学校アンケートの考察と今後の重点目標」と題し、「人に対する思いやり・公共心・責任感の向上に向け努力する 道徳の時間を大切にす意識を高め、学級の現状を的確にとらえた上で道徳の授業を完全実施していく」という提案がなされた。

### (イ) あいさつ運動の実施

平成19年度の1学期の学校アンケート結果(別添資料8-3)では、あいさつ・身だしなみの項目の肯定率で生徒は81.5%、教職員は75.9%の数値を示した。しかし、保護者からのアンケート結果ではあいさつ・身だしなみについての肯定率は他の項目に比べ著しく低く64.7%であった。また、自由記載の中には「学校内では、あいさつをしてくれますが、外ではダメ」「あいさつ・身だしなみ等生活面



生徒会執行部ビデオ編集

の指導をもう少し厳しくしていただきたいと思います」等の意見もあった。生徒会担当がこの「ずれ」や意見に目を付け、生徒会に投げ掛けた。生徒会執行部が中心となり、春木中生のあいさつや身だしなみに対するイメージを地域の方にインタビューをした様子や、「とある日の春中」と題し、マナーの悪い生徒を題材とした寸劇をビデオ編集し、全校生徒に視聴させた。事後プリントからは、自らの日ごろの生活を真剣に振り返る生徒の姿が見られた。

### (ウ) 保護者への理解...19年度 1 学期アンケートから

保護者からの意見は謙虚に受け止めるべきであるが、誤解と思われる部分については十分に理解をしていただけるように努力をするべきである。1学期の生徒アンケート結果(別添資料8-4)では、「先生は、あなたの理解度に合った授業を行ってくれたと思いますか」の項目に対し80.0%の肯定率であったが、保護者アンケートのほぼ同内容の「学校は、生徒一人一人に応じた授業を心掛けている」の項目では60.5%の肯定率であった。生徒の多くが教職員の指導に対し肯定的であるにもかかわらず、保護者からは厳しい評価結果である。学校評価委員会で検討した結果、直接授業を受けている生徒からのアンケート結果に重きを置くべきと結論付けた。保護者には学年通信でその分析結果を伝えることにした。

(3) 自己評価書と学校関係者評価（外部評価）書

平成17年度までの学校評価では、自己評価書と学校関係者評価（外部評価）書のい「ずれ」も使用せずに行ってきた。平成18年度については、1・2学期に行ってきた学校評価を、分かりやすくまとめた状態にできないものかと考えたのが次の様式である。これは、自己評価書と学校関係者評価（外部評価）書（資料9）を1枚の様式にすることにより、「教育目標」「具体的方策」「アンケート項目」「アンケート結果」「総合的な自己評価と対策及び重点」を一時に見ることができるようにしたものである。学校関係者評価（外部評価）書の評価欄は「自己評価の適切さ」「重点の適切さ」をA～Dの4段階で評価するようにした。さらに、その下に意見欄を設けた。評価者から、「これまでとかく資料が多く、評価の仕方が分かりづらい」という意見が出ていたが、「大変シンプルになり分かりやすく、『対策及び重点』が具体的でよい」と好評を得た。平成18年度の学校関係者評価（外部評価）書にある「対策及び重点」は、平成19年度の「具体的方策」の一部となった。

【資料9 自己評価書と学校関係者評価（外部評価）書】

東郷町立春木中学校 自己評価書及び外部評価書					
1 教育目標					
校訓	目標とする生徒像				
伸びよう 清く たくましく	英知—自ら学ぶ意欲を持ち、深く考え、社会の変化に主体的に対応できる生徒 自律—いのちを尊び、礼節を重んじ、こころ豊かな生活を築くことのできる生徒 剛健—こころやからだを積極的に鍛え、忍耐強くたくましく生きる生徒				
2 経営方針					
【基礎・基本の定着】	基礎・基本の確実な習得を図り、生徒が達成感を味わえる指導方法と、指導に生きる評価方法の工夫をする。				
【豊かな人間性の確立】	生徒理解を深めることにより、生徒との信頼関係の確立に努め、自分を大切にできる生徒の育成を図る。				
【健康安全教育的の推進】	自らの健康を管理し、改善していく資質や能力の育成に努め、心身共に健康で安全な生活を送るための実践力の育成を図る。				
【家庭・地域との連携】	家庭・地域との情報連携に努め、それぞれが果たす教育的役割の相互理解を図り、安心して信頼される学校づくりをめざす。				
3 自己評価書及び外部評価書					
※ アンケート結果は4点満点 肯定率はアンケートで4及び3を選んだ割合 評価基準 A…達成 B…大むね達成 C…やや不十分 D…不十分					
教育目標実現のための具体的方策	アンケート結果 生徒数/総数	肯定率 % 生徒数	項目毎 の評価	総合的な自己評価と対策及び重点 (○重点・対策)	外部評価 自己評価の適切さ 重点の適切さ
(1) 基礎・基本の定着	3.0/3.0	78/76		B	通 通
ア 学習規律の確立、学習習慣の定着に取り組む。 ・チャイム直後、授業準備、開講時のあいさつ指導の徹底 ・説明や発言は最後まで集中して聞く姿勢の育成 ・家庭学習の習慣化の促進	3.3/3.2 3.0/2.9 2.8/2.3	94/80 79/79 66/35		○朝学習の充実 ・打合せ後、教師はなるべく早く教室に向かい、落ち着いて一日のスタートが切れるようにさせる。 ○教育情報発信 ・学習内容や進捗、家庭学習のポイントなどを積極的に発信する。 ○授業と家庭学習の連携 ・授業内容に直結する課題（予習・復習）を与える。	意見等 三つの重点を毎日実践することにより、効果は必ず現れるものと信じます。 教育法は産婆術と示唆されているとあり、英知が結果として、活学活用なさるよう願っています。
イ 個に応じた指導の工夫・改善・充実を図る。 ・基礎・基本の定着を図る指導と発展学習を視野に入れた指導 ・チームティーチングや少人数指導の活用（数学・英語） ・指導と評価の一体化を図る継続的な努力	2.9/3.2 3.1/3.1 3.9/3.1	70/36 78/82 70/83			
ウ 選択教科の取り組みの充実を図る。 ・ねらいの明確化と見直しを行った指導の確立					
(2) 豊かな人間性の確立	3.0/2.9	74/76		C	通 通
ア 基本的生活習慣の確立を図る。 ・あいさつ・言葉遣い 身だしなみ 時間・姿勢等についての指導の焦点化 ・指導体制についての把握と理解 「新吉・連絡・相談」体制の確立 ・環境美化（含む教室環境）に対する意識化	3.0/3.0 3.3/2.9 3.2/3.0 3.1/3.2 3.0/3.2	78/89 86/78 84/81 85/80 75/88		○教師及び生徒相互の言語環境の改善 ・「君・さん」「です・ます」の指導を徹底する。 ・TPOをわきまえた正しい言葉遣いの励行を促す。 ○道徳授業の指導法の工夫と指導力の改善 ○道徳の理解力、規範意識の向上を図る指導の充実 ・全校道徳を実施する。 ・道徳授業を完全実施する。 ・道徳授業研究、授業公開を行う。 ・親会講話を活用する。 ・グループエカンカウンターを導入する。	意見等 道徳授業の時間の確保という難問もありますが、学ぶことはまねぶ（まねをする事）とも訓じるようにまずは膨大な個聖賢の経験を元に考えられたことどもを謙虚に見ることが肝要、一個の人間が経験し考え得る事は狭いものでず。生徒の無事に近い潜在能力を提示、朗吟等あらゆる手段をもちいて未来の現実世に向けて形成されますよう期待します。
イ お互いのよさを認めあえる仲間づくりやコミュニケーション能力を身につけさせる ・朝の会、帰りの会の充実 ・互いのよさを感じ合えることができる学級づくり ・一人一人が感動できる生徒主体の学校行事の充実・発展	3.1/2.7 2.9/3.2 3.2/3.1	78/64 69/95 83/81			
ウ 教育行動活動の充実を図る。 ・教育行動の力量を高める努力 ・縦断の目による生徒理解、組織的な連携、支援体制の確立 ・スクールカウンセラー：心の教育相談員との連携	2.9/2.8 2.8/3.0 /2.3	73/59 69/80			
エ 道徳の授業の充実を図る。 ・道徳の授業の時間の確保 ・道徳の授業における指導法の工夫と指導力の向上	2.4/2.4 2.8/2.7	51/43 57/81			
(3) 健康安全教育的の推進	3.4/3.2	85/89		A	通 通
ア 安全な学校生活を送るための健康教育の実践に努める。 ・校内指示の工夫と環境美化活動の推進 ・不注意や暴ぶぶりに起因する事故の撲滅とガラス破損・器物損壊の削減への努力	3.4/3.4 3.7/3.4	86/88 93/96		○心とむし給食の時間を創り出す工夫 ・食事にふさわしい雰囲気を作る。 ・当番活動・係活動を充実させる。	意見等 誰しも天寿を全うし不慮の事故があってもはなりません。自然の摂理として人は生老病死をたどります。60兆個の細胞が体の中で役割を果たしながら全体の調和を保っています。心とむし給食の時間という重点を医食同源と見なし、
イ 心身共に健康な体づくりをめざす。 ・授業の充実 ・体育的活動の充実		80/81			

#### 4 まとめと今後の課題

平成17年度までの反省の上に、新たに取り組み出した学校評価は、検討課題はあるものの少なからず手ごたえを感じた。実践事例はその一つである。集計されたアンケート調査結果に見入る教職員の姿から、学校改善への意欲の現れを感じ取ることができた。

生徒・教職員いずれにおいても、明確な目標は新たな活動を生むこと、実践し評価し反省することは更なる意識の高まりにつながることを実感した。

主な成果と課題を次に掲げる。

##### < 成果 >

前年度の学校評価を参考に、教育目標具現に向けて具体的な方策が校長より出されるようになり、目標や指標がより明確になった。

学校運営組織に学校評価委員会が位置付けられ、年間計画に評価計画が組み込まれた。

結果について、積極的に公表するようになった。また、分析結果に基づき必要に応じてその対策を講ずるなど柔軟な対応ができるようになった。

自己評価書と学校関係者評価（外部評価）書を作成したことにより、学校評価を以前より的確に行えるようになった。

フォームを作成したことにより、データ処理に費やす時間が圧倒的に減少した。

##### < 課題 >

生徒・保護者・教職員のアンケート項目を今後どのようにしていくか。

よりの確なデータ分析をいかに行うか。

学校関係者評価（外部評価）委員の学校理解をいかに図っていくか。

自己評価書と学校関係者評価（外部評価）書をどのように改善していくか。

評価書の設置者への提出をどのように行っていくか。

今後も子供が輝く学校づくりのための学校評価を進めていきたい。

## (1) 基礎・基本の定着

- ア 学習規律の確立，学習習慣の定着に取り組む。
  - ・チャイム着席，授業準備，開始終了時のあいさつ指導の徹底
  - ・説明や発言は最後まで集中して聞く姿勢の育成
  - ・家庭学習の習慣化の促進
- イ 個に応じた指導の工夫・改善・充実に努める。
  - ・基礎・基本の定着を図る指導と発展学習を視野に入れた指導
  - ・チームティーチングや少人数指導の活用（数学・英語）
  - ・指導と評価の一体化を図る継続的な努力
- ウ 選択教科の取組の充実に努める。
  - ・ねらいの明確化と見直しをもった指導の確立

## (2) 豊かな人間性の確立

- ア 基本的生活習慣の確立を図る。
  - ・あいさつ・言葉遣い・身だしなみ・時間・姿勢等についての指導の焦点化
  - ・指導体制についての共通理解と「報告・連絡・相談」体制の確立
  - ・環境美化（含む教室環境）に対する意識化
- イ お互いのよさを認め合える仲間づくりやコミュニケーション能力を身に付けさせる。
  - ・朝の会・帰りの会の充実
  - ・互いの温かみを感じ合うことができる学級づくり
  - ・一人一人が感動できる生徒主体の学校行事の充実・発展
- ウ 教育相談活動の充実に努める。
  - ・教育相談の力量を高める努力
  - ・複数の目による生徒理解，組織的な連携，支援体制の確立
  - ・スクールカウンセラー・心の教育相談員との連携
- エ 道徳の授業の充実に努める。
  - ・道徳の授業の時間の確保
  - ・道徳の授業における指導法の工夫と指導力の向上

## (3) 健康安全教育の推進

- ア 安全な学校生活を送るための啓発教育の実践に努める。
  - ・校内掲示の工夫と環境美化活動の推進
  - ・不注意や悪ふざけに起因するけがの撲滅とガラス破損・器物損壊の削減への努力
- イ 心身共に健康な体づくりを目指す。
  - ・授業の充実
  - ・体育的活動の充実
  - ・部活動の充実
- ウ 健康で安全な生活習慣を身に付けさせる。
  - ・食，睡眠・休養についての指導の充実と家庭との連携
  - ・危機に対する認識を深めさせる指導の場の確保
  - ・心とむ給食の時間をつくる工夫

## (4) 学校・家庭・地域の連携

- ア 学校情報を保護者・地域に積極的に発信する。
  - ・各種便りの発行，ホームページ，メールによる情報発信
  - ・授業参観，三者面談，家庭訪問（定期・随時）の実施
- イ 保護者・地域からの意見や情報を積極的に得る工夫をするとともに，それらを教育活動の活性化に生かす。
  - ・学校関係者評価や学校公開等，学校評価の実施
  - ・学校評議員会の開催
- ウ 地域・保護者の教育力を積極的に活用し，地域の中の学校づくりを目指す。
  - ・外部講師，地域の教育力を生かした授業等，諸活動の実践
  - ・家庭・地域の教育力増強のための働き掛け

平成19年度 全校 第1学期 学校アンケート集計結果  
対象：全校生徒 533人中 527人回答（回答率98.0%）

どう思う4点、少し思う3点、あまり思わない2点、全く思わない1点で集計

番号	項目	そう思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない	得点	平均	偏差
1	授業の開始には普通でできていますか	356	133	22	8	1376	3.6	94.0%
2	授業の開始や終了のあいさつはしっかりできていますか	200	243	36	10	1386	3.2	85.5%
3	説明や授業を最後まで集中して聞くことができているか	106	267	128	16	1505	2.9	72.3%
4	朝学習は充実した取り組みができていますか	34	80	58	54	546	2.4	50.4%
5	先生は、あなたの理解度にあった授業を行ってくれていると思いますか	126	284	34	16	1551	3.0	80.0%
6	授業の目標を理解して授業を受け取ることができていますか	104	271	129	17	1504	2.9	72.0%
7	Tや少人数での授業は効果があると感じましたか（数学・英語）	162	201	109	36	1508	3.0	71.0%
8	授業内容に対する予習・復習はできていますか	126	222	132	52	1494	2.8	65.5%
9	あいさつやきちんとした身だしなみ、正しい言葉遣いできていますか	181	246	74	23	1333	3.1	81.5%
10	朝学習や身の回りきまきまの掃除ができていますか	112	234	139	43	1471	2.8	65.5%
11	互いが気持ちよく生活できるように、マナーに気を遣って生活できていますか	146	277	39	16	1587	3.0	80.0%
12	互いの良さを認め合える学級になってきましたか	78	265	130	46	1413	2.7	66.1%
13	充実した校外学習（修学旅行・野外活動・校外学習）になりましたか	260	177	39	24	1713	3.3	84.0%
14	道徳の授業に興味を持って取り組むことができていますか	106	223	136	47	1430	2.8	64.7%
15	健康を判断し、ルールを守ろうとして生活できていますか	182	246	30	10	1336	3.2	82.6%
16	健康や安全意識を持って生活できていますか	267	177	57	16	1732	3.3	85.4%
17	部活動に積極的に取り組むことができていますか	230	112	38	41	1313	3.4	83.6%
18	学級内をはじめ、良好な友人関係を築くことができていますか	281	194	35	10	1786	3.4	91.3%
19	規則正しい生活（食生活・睡眠・休養）を送れていますか	152	203	127	41	1512	2.9	67.8%
20	給食の時間は楽しく食べていますか	206	205	76	34	1321	3.1	78.8%
21	春木中学校のホームページを見たことがありませんか	190	51	25	258	1216	2.9	46.4%
22	学年だよりや学校からのお知らせを見たことがありませんか	267	143	79	31	1335	3.2	79.0%

※朝学習は、取り組んでいない学年もあり、数値が低くなっています。

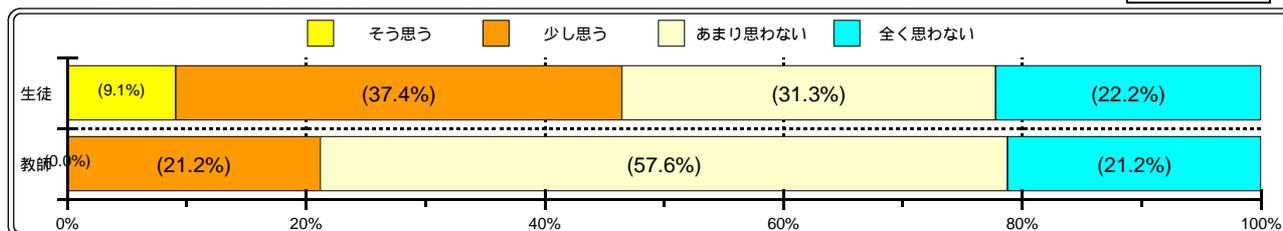
平成19年度 全校 第1学期 学校アンケート集計結果  
対象：全校保護者 545人中 376人回答（回答率68.9%）

どう思う4点、少し思う3点、あまり思わない2点、全く思わない1点で集計

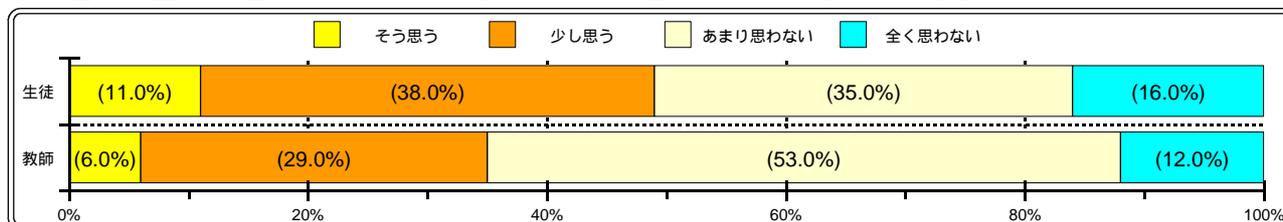
番号	項目	そう思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない	得点	平均	偏差
1	学校は、教育活動が計画通り進んでいるか	128	193	46	5	1158	3.2	85.3%
2	学校は、子供の学力を高めるための取り組みができていますか	117	181	61	3	1136	3.1	82.3%
3	学校は、生徒の理解を深めるように努力、一人一人を大切にしていますか	38	194	60	7	1105	3.1	81.4%
4	学校は、生徒一人一人に合った授業を行っていますか	40	174	133	9	985	2.7	60.5%
5	学校は、いろいろな取り組みを行っていますか	35	174	92	7	1093	3.0	73.1%
6	学校は、校舎内外の環境整備を行っていますか	38	225	55	3	1176	3.1	85.2%
7	学校は、体育大会や文化祭などの学校行事を行っていますか	151	167	33	1	1172	3.3	90.3%
8	学校は、生徒が活動に参加しやすいように努力していますか	138	160	54	10	1142	3.2	82.2%
9	春木中学校は、生徒の生活が豊かになっていますか	61	179	113	13	1030	2.8	64.7%
10	お子さんは、学校に通うのを楽しみにしていますか	178	148	44	8	1238	3.3	86.1%
1-1	・挨拶が丁寧か、服装や身だしなみ、 ・学習態度がよいか、 ・特別支援教育についてどんな取り組みをしているのか、具体的に教えていただけますか。 ・中学生に「思春期」といってどんな時期があるのか、親の役割や、勉強の仕方、友人関係など、小学生の時とは変わった点について教えてください。							
1-4	・学校内では、あいさつができていますか、外ではどうですか。 ・まだ、年生の1学期ですが、学習の進捗が、できていない子も出てきていますか、その中で、できない子に個別の指導はどのように行っているのでしょうか。 ・朝学習について、いかに大切か、具体的な取り組みはありますか、 ・毎週土曜日の活動は、やりがちな活動か、勉強も必要か、 ・クラブ活動は、月曜日を休ませていますか、 ・先生は、授業の進め方が、わかりやすいか、 ・先生は、授業の進め方が、わかりやすいか、 ・先生は、授業の進め方が、わかりやすいか、							
1-5	・朝学習の進め方が、わかりやすいか、 ・毎週土曜日の活動は、やりがちな活動か、勉強も必要か、 ・クラブ活動は、月曜日を休ませていますか、 ・先生は、授業の進め方が、わかりやすいか、 ・先生は、授業の進め方が、わかりやすいか、 ・先生は、授業の進め方が、わかりやすいか、							
2-1	春木校など今年も開催されますか							
2-2	・今年も開催されますか、 ・昨年は、どのくらい参加したか、 ・他の中学校は、どのくらい参加したか、							
2-3	下校のマナーが、できていますか、 ・下校のマナーが、できていますか、 ・下校のマナーが、できていますか、							
2-4	・今年も開催されますか、 ・昨年は、どのくらい参加したか、 ・他の中学校は、どのくらい参加したか、							
3-1	・今年も開催されますか、 ・昨年は、どのくらい参加したか、 ・他の中学校は、どのくらい参加したか、							
3-3	・今年も開催されますか、 ・昨年は、どのくらい参加したか、 ・他の中学校は、どのくらい参加したか、							
3-4	・今年も開催されますか、 ・昨年は、どのくらい参加したか、 ・他の中学校は、どのくらい参加したか、							
3-5	・今年も開催されますか、 ・昨年は、どのくらい参加したか、 ・他の中学校は、どのくらい参加したか、							

番号	項目	そう思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない	平均(4点満点)
1	授業の開始にはチャイム着席できましたか	51	39	8	2	3.4
	チャイム着席をさせた授業の開始	26	70	4	0	3.2
2	授業の開始や終了のあいさつはしっかりできましたか	39	47	11	3	3.2
	授業の開始や終了時のあいさつ	58	33	8	0	3.5
3	説明や発言を最後まで集中して聞くことができましたか	19	55	21	5	2.9
	説明や発言を最後まで集中して聞く姿勢	17	58	25	0	2.9
4	予習や復習を行うことができましたか	16	42	32	11	2.6
	予習や復習の習慣化	5	45	35	15	2.4
5	先生は、あなたの理解度にあった授業を行ってくれたと思います	20	58	18	4	2.9
	基礎・基本が身に付いたと思います	20	58	18	4	3.0
番号	項目	そう思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない	平均(4点満点)
19	道徳の授業で心をゆさぶられたことがありましたか	9	37	31	22	2.3
	年間計画に基づいた道徳の授業の実施(担任)	0	21	57	21	2.0
20	道徳の授業に興味を持って取り組むことができましたか	11	38	35	16	2.5
	道徳指導の工夫と指導力の向上への努力	6	29	53	12	2.3
21	先生はあなたの言葉を親身に受けとめてくれていると思いますか	21	55	18	6	2.9
	教育相談の力量向上への努力	5	50	35	10	2.5
22	スクールカウンセラーや心の教室相談員に相談したことがありますか	6	0	0	94	1.2
	S・C・心の教室相談員と連携した指導	5	37	47	11	2.4
23	先生方はあなたのことを理解してくれていると思いますか	17	53	23	7	2.8
	教師間の連携のものと生徒理解と支援	32	55	9	5	3.1
	生徒一人一人が感動できる生徒指導(校外学習・キャンプ)	30	51	15	4	3.1

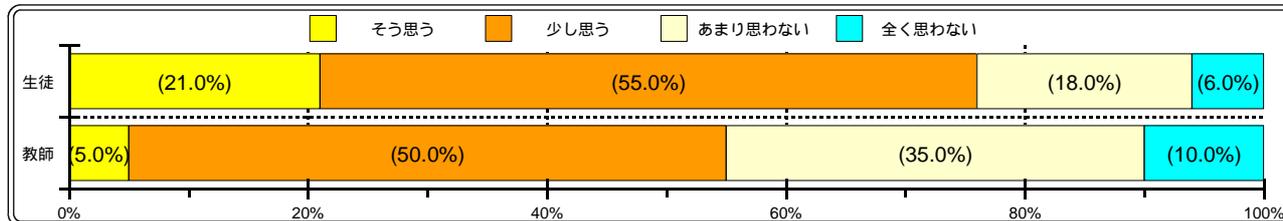
19 道徳の授業「道徳の授業で心を揺さぶられたことがありましたか」



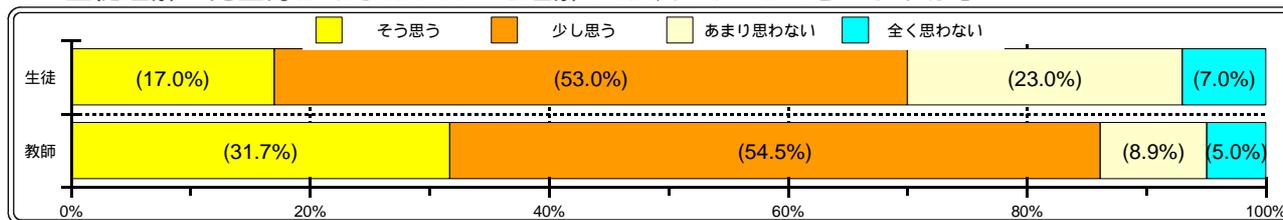
20 道徳の工夫「道徳の授業に興味をもって取り組むことができましたか」



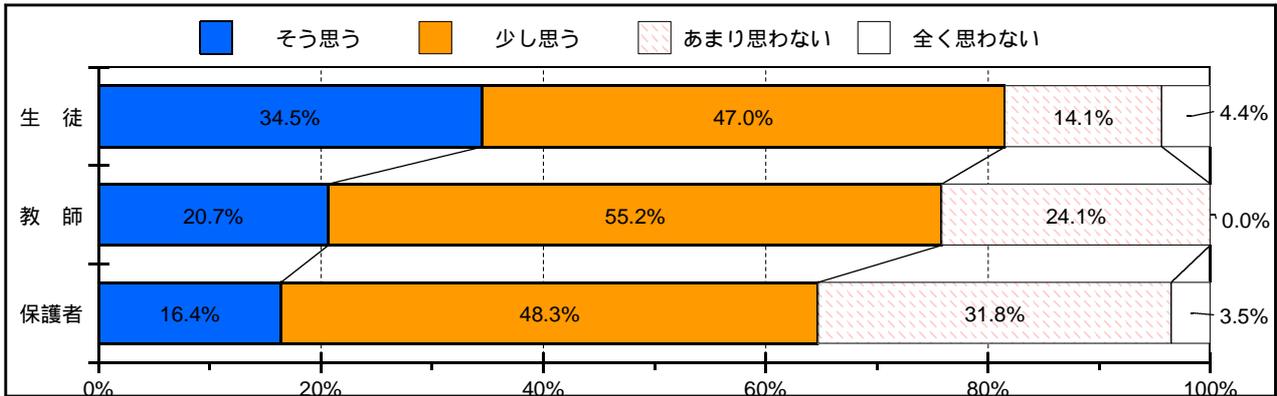
21 教育相談「先生はあなたの言葉を親身に受けとめてくれていると思いますか」



23 生徒理解「先生方はあなたのことを理解してくれていると思いますか」

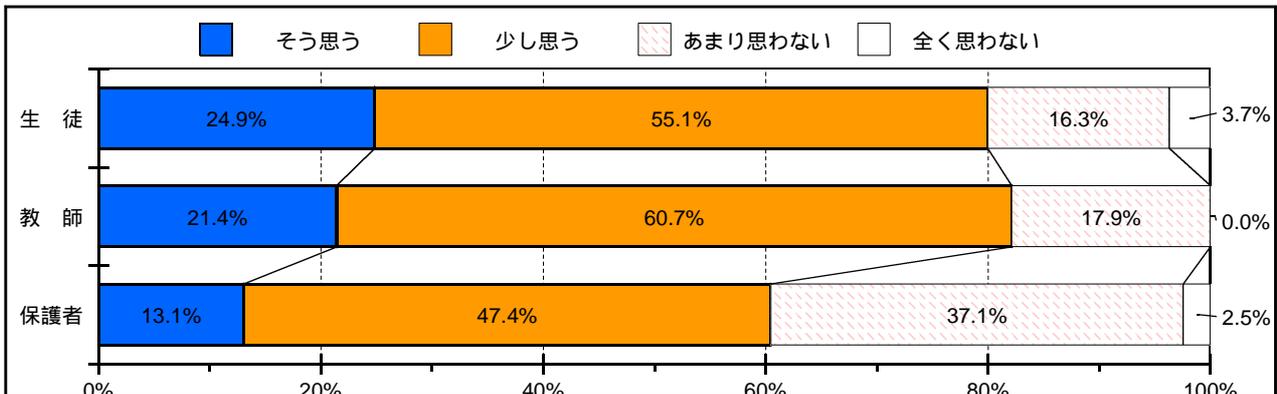


9 基本的生活習慣「あいさつやきちんとした身だしなみ、言葉遣いはできましたか」



資料8-4

5 個に応じた指導の工夫・改善・充実「先生はあなたの理解度にあった授業を行ってくれたと思いますか」



肯定率(%)...「そう思う」「少し思う」を選んだ全体に対する割合を示す。

本校では、肯定率が80%を超せば目標は、ほぼ達成ととらえている。